

みずいろ通信

Vol. 7

2021年
1月発行



新年あけましておめでとうございます。昨今は、新型コロナウイルス感染症のニュースばかりですが、お正月はどのように過ごされましたか？

何かと不便の多い日々ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますように願うばかりです。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



駒川商店街での里親普及活動（10月25日・11月7日）



新型コロナウイルス感染症の影響で中断していた啓発活動も、やっと出来るようになりました。感染予防として配布物は手袋をして渡しました。恐る恐る受け取ってくださる方や、内容を知って「頑張ってください」と温かい言葉をかけてくださる方もおられ、励みになりました。その他、封筒に配布物を入れて、自由に取ってもらうなどの対策を練りながらの活動でした。例年より人通りは少なかったのですが、掲示物を見ながら熱心に話を聞いてくださる方もおられました。



里親登録前実習



里親登録前研修では、3日間の座学を受けた後、児童養護施設か乳児院で2日間の実習をします。

四恩学園乳児院では、コロナ感染予防対策の為、クラスに入れる時間が制限され、子どもたちと接する時間が少なくなりました。その時間を補うため、施設で作った『赤ちゃんの成長』の動画を見てもらって学習してもらっています。新生児の泣き方、寝返りをする時の体の動き、赤ちゃんの視線、訴える表情、喃語を発する赤ちゃんなど発達段階によってさまざまな動き見てもらいながら、発達について講義をしています。赤ちゃんの1つ1つの動きには意味があり、次の発達段階に繋がっていく過程を動画を通じて感じ取ってもらいました。歩き出すまでのグラグラと安定しない足腰の使い方は「頑張れ」と声を掛けたくなるほど力が入ってしまいます。

このビデオを見た後に、子どもたちと接したご夫婦は、「今からこれをしようと思って体をひねっているんですね。」「今、この発達途中なんですね。」と発達過程を考えながら子どもと接していました。



里親子トピックス

🔗～ママもびっくり！～🔗

里親委託から1か月。Rちゃんにとって散歩は新しい出会いと発見の毎日！1件1件のお店を覗き込み、里母に「ここ、何？」と質問攻めです。ふと立ち止まったのが、喫茶店の看板の前で「これ！これ！」と指さしたのがお子様ランチでした。施設に居た時は食が細かったので、本人からのリクエストにびっくり！食べたいと言っただけあって、お子様ランチはペロリと平らげたそうです。環境が変わると、胃袋も活性化するんですね。



🗨️～さすが我が息子～🗨️

発表会が迫った時のこと。幼稚園での練習ではお遊戯を全く踊らないS君。担任の先生から本番を心配して、里母に連絡がありました。発表会当日、棒立ちだろうと想像していた里父母でしたが、見事に踊り切るS君の姿を見て感涙したそうです。やる時はやる芯の強さに、「さすが我が息子！」と感動したとのことでした。

📺～ビデオレターで繋がって～📺

いよいよ里父母とAちゃんの施設実習が始まりました。里父は仕事の為、施設実習に参加出来ない時に、毎日Aちゃんの為に「あと〇日で会えるね。待っててね。」とビデオレターを撮って里母に預けていました。Aちゃんは、それを見てにんまり。仕事で来られない時でも夫婦協力して、Aちゃんと関わって頂ける姿にこちらまでハッピーになりました。

🌀～のんびりって大事だね～🌀

児童養護施設に登録前実習に来られたCさんご夫妻。職員が複数いる子どもの対応をしてせわしなく動いている様子を見て、「私たちはのんびりタイプで、とても先生たちの様にシャキシャキ動けない」と感想をお聞きしました。いろんな業務があるので職員は常に1.5倍速で動いており、そのせわしなさは子ども達があのね…と話を切り出しにくいただろうと振り返りました。のんびりも大事ですよ。

週末里親のDさんご家族と関わり始めてもうすぐ1年のEちゃん。おばちゃんのことを最初はDさんと呼んでいました。慣れてきて実子がママと呼ぶので「ママ…」と呼んでいたこともあるようです。なんて呼んでもらったら良いかと相談があったので、Eちゃんに職員から話をしました。「Eちゃんのママは産んでくれた人で、今はお仕事で忙しくて別々の場所にいるんだよ。だからEちゃんは施設でお友達と先生たちと生活してるよね。Dさんはママじゃないけど、時々一緒にお出かけやお泊りをして楽しいことや美味しいことを一緒にしてくれるEちゃんだけのボランティアさんだよ」そう説明したあと、Dさんと呼ぶようにしたようです。ママって言ってみたい子どもの気持ち、生みの親への思い、現実に向き合いたくない思いなど小さい体でいろんなことを考えているんだと感じました。



●編集後記●

コロナと共存する生活様式は不便さも多々ありますが、この事態が収束して、また啓発活動などを通して皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

(松木・大津・宮澤・半田)

お問い合わせ先

一般社団法人大阪市児童福祉施設連盟

里親支援委員会

(事務局：聖家族の家 06-6699-7221 担当：萱津・松本)